

Kaunas 2022  
European Capital of CultureEAST-EAST  
RYTAI-RYTAI  
Lithuania-Japan Architectural Event

5

2022 9/23 FRI — 26 MON | Kaunas, Lithuania

※展覧会は 10/22 までを予定

Exhibition "Recipe for Recovery" (回復のレシピ)

Students' Workshop "Play Earth" (地球と遊ぶ)

Public Forum "Bridging" (ブリッジング)

総合ディレクター

国広ジョージ

ディレクター

西田司

参加建築家

海法圭

門脇耕三

田根剛

津川恵理

寺本健一

富永美保

能作文徳

増田信吾

山田紗子

吉村靖孝

キュレーター

川勝真一

基調講演

隈研吾

EAST-EAST5  
メインテーマ

RECOVERY

リカバリー



何世紀にもわたって建築家は未来を描く力を持ち合わせていました。その力は広大な新たな土地に役割を与え、巨大なインフラで地球を穿ち、自然景観や生態系を変えました。膨大な資源を消費することで、多くの人を貧困から救ったと同時に、地球の気候すら変えました。結果、人類はいくつものジレンマを抱えています。自然環境を維持しながら、急激な都市化にどのように対処すべきか。弱者を見捨てない公平な社会を実現しつつ、競争力を維持できるのか。発展を妨げることなく気候変動に対処するにはどうすればよいか。官僚主義的な意思決定や実施プロセスがグローバルな変革を加速させることはできるのか。有限な地球の資源によって際限ない経済成長はなしうのか。そもそも私たちの持っている建築言語の多くは、土地や素材、生態系や社会関係などの資源の消費を前提とした開発の外側へと出ていくことができない。ゆえにこれからの世界に向けて、将来世代の資源を過剰に消費せず、既存の都市組織を回復するための新しいプロジェクトや開発を保証するパラダイムシフトが必要なのです。RECOVERY (リカバリー) とは、傷ついた都市組織に包帯を巻き、生態系の骨格を強化し、経済の筋肉を鍛え、切れた社会の韌帯を再生することです。そのためには、ときに痛みを伴う手術が必要かもしれません。しかしそれによって私たちの都市は、これまで以上に健康で強靱なものとなっていきます。

欧州の東にあるリトアニアとアジアの東にある日本。リトアニア建築家協会 /LAS と日本建築家協会 /JIA の共催による両国の建築家と建築学生との交流イベントである“EAST-EAST”は2002年に始まり、これまでに4回開催されてきました。

“EAST-EAST5”はその第5回として、リトアニア共和国カウナス市の「欧州文化首都2022」および「カウナス建築フェスティバル2022」にあわせ、「RECOVERY (リカバリー)」をメインテーマとして開催されます。両国の建築家と建築学生による展覧会、学生ワークショップ、公開フォーラムにJIAの若手建築家、建築学生、基調講演者を派遣いたします。コロナ禍により大きく変化した両国の建築家の意識を共有すると共に若い世代の建築家にバトンをつなぎ、UIA加盟団体として日本の建築設計界を代表するJIAが、若手建築家を中心とし未来に向けたテーマを掲げた国際的イベントを主導してまいります。

主催 (共催) : リトアニア建築家協会、(公社) 日本建築家協会 ■ 後援 (依頼中) : 駐日リトアニア大使館、(社) 日本建築学会、(公社) 日本建築士会連合会、(社) 日本建築士事務所協会連合会、(社) 日本建設業連合会、(財) 日本建築センター、(公財) 建築技術者教育普及センター ■ 協力 : カウナス工科大学 ■ 欧州文化首都2022、カウナス建築フェスティバル2022、第30回EU・ジャパンフェスト支援プロジェクト、リトアニア・カウンスル・フォー・カルチャー支援プロジェクト、日本リトアニア友好100周年関連行事

学生WS参加者募集 (7/20締切)、詳細なイベントの情報については  
JIA国際委員会のホームページをご覧ください。 <https://jia-intl.org/>

